

【表 1】令和 2 年度予算～各会計の内訳と前年度との比較～（単位：万円、％）

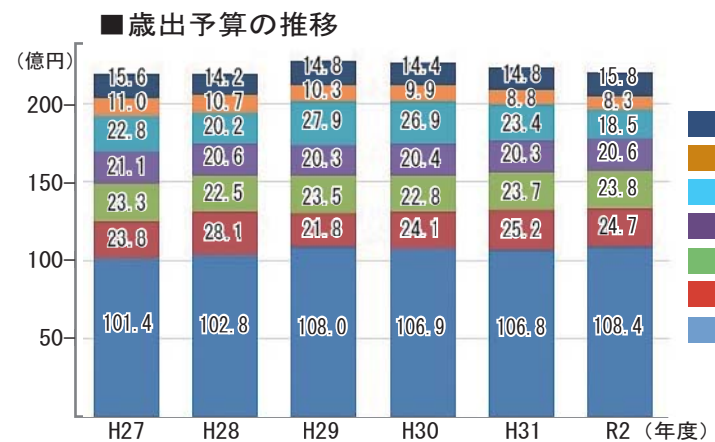
区 分	令和 2 年度 (当初)	令和元年度 (当初)	増減額	増減率
一般会計	220 億 600.0	222 億 9,700.0	▲ 2 億 9,100.0	▲ 1.3
特 別 会 計				
国民健康保険事業	59 億 2,310.0	58 億 8,390.0	3,920.0	0.7
後期高齢者医療	12 億 8,380.0	12 億 4,610.0	3,770.0	3.0
介護保険事業	38 億 2,548.0	37 億 3,500.0	9,048.0	2.4
羽村駅西口土地 区画整理事業	18 億 5,050.0	9 億 3,150.0	9 億 1,900.0	98.7
計				
下水道事業	—	12 億 7,980.0	▲ 12 億 7,980.0	皆減
特別会計合計	128 億 8,288.0	130 億 7,630.0	▲ 1 億 9,342.0	▲ 1.5
水道事業会計	16 億 5,597.4	16 億 3,841.8	1,755.6	1.1
下水道事業会計	18 億 2,007.3	—	18 億 2,007.3	皆増
合 計	383 億 6,492.7	370 億 1,171.8	13 億 5,320.9	3.7

※水道事業会計および下水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。

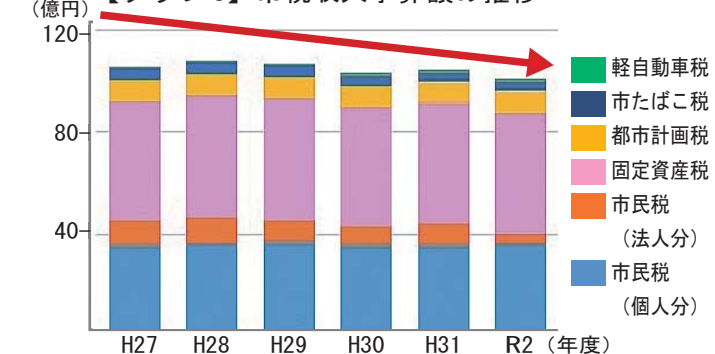
※下水道事業会計は、令和 2 年度より地方公営企業法に基づく公営企業会計に移行しました。

【表 2】財源補完の状況（単位：万円、％）

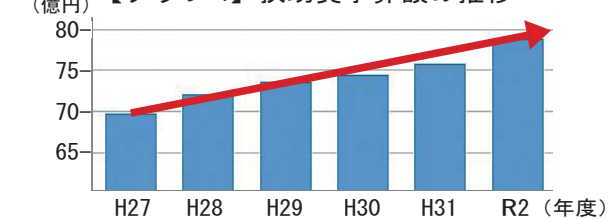
	R2 年度 (当初)	H31 年度 (当初)	増減額	増減率
財政調整基金 (繰入額)	4 億 1,260.7	9 億 5,015.9	▲ 5 億 3,755.2	▲ 56.6
市債（借入額）	5 億 5,510.0	6 億 5,640.0	▲ 1 億 130.0	▲ 15.4



【グラフ 3】市税収入予算額の推移



【グラフ 4】扶助費予算額の推移



明なことを踏まえ、市内企業の業績の見通しや令和元年度の予定申告の状況、法人住民税法人税割の一部国税化の影響から大幅な減少を見込み、前年度と比較して 51・5％減の 4 億 2 億 0 億 1 億 0 千万円としました。

固定資産税は、家屋分の新増築による増などを見込み、全体では前年度と比較して 0・8％増の 47 億 8 億 1 億 2 千万円としました。

軽自動車税は、新税率、重課税の適用車の増加および環境性能割の増収を見込み、前年度と比較して 8・1％増の 1 億 2 億 2 億 8 千万円としました。

◆一般会計の歳出入内訳◆【グラフ 2】

民生費は、障害福祉サービス費、生活保護費、私立保育園保育委託料などを計上、教育費は、スイミングセンター天井等改修工事などを計上しました。

総務費は、国勢調査に要する経費、都知事選挙や市長選挙に要する経費などを計上しました。

土木費は、下水道事業会計負担金や加美緑地公園改修工事費を計上しました。

新型コロナウイルス感染症対策について

令和 2 年度当初予算では、新型コロナウイルス対策に要する予算を特別に計上はしていませんが、発生状況や国の動向などを注視し、必要に応じ迅速に措置を講じていきます。

◆財源補完の状況◆【表 2】

年度間の財源調整や後期基本計画に掲げる事業を着実に実施していくために必要な財源として、財政調整基金からの繰入金や市債の活用を図ります。

令和2年度 羽村市予算 220 億 600 万円（前年度比 1.3%減）

財政健全化を目指す予算

問合せ 財政課内317

第五次長期総合計画後期基本計画に定める市の将来像を目指して

令和 2 年度は、市の将来像である「ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら」の実現に向け、実施すべき事業を見極め展開していくとともに、神明台二丁目地区への大手企業の進出に合わせ、さらに良好な都市環境を創出し、市内経済の活性化や転入、定住の促進など、総合的なまちづくりを進めていく必要があります。

羽村市が魅力あふれるまちとして今後も発展していくため、行財政改革を引き続き強力に推し進め、安定した財政基盤構築を目指す予算を編成しました。

行財政改革の取組み

市税などの経常的な収入が減少している中、少子高齢社会の進展に伴う扶助費の増大などにより、基金の取崩しが増え、基金残高が大幅に減少するなど、財政運営は厳しい局面にあります。【グラフ 3・グラフ 4】

このことから、平成 30 年度から全庁を挙げ「行政のスリム化に向けた全事務事業の点検・見直し」に取り組むなど行財政改革を進めています。【P3 表 5・P4 表 6】

令和 2 年度の予算編成では、この行財政改革の取組みを反映させ、歳出予算の総額を抑える一方、返礼品を用いたふるさと納税の実施など、歳入の確保に努め、財政健全化を目指す予算としました。【表 1】

一般会計予算

今後も引き続き財政の健全化に向けて全力で取り組んでいきますので、ご理解ご協力をお願いします。

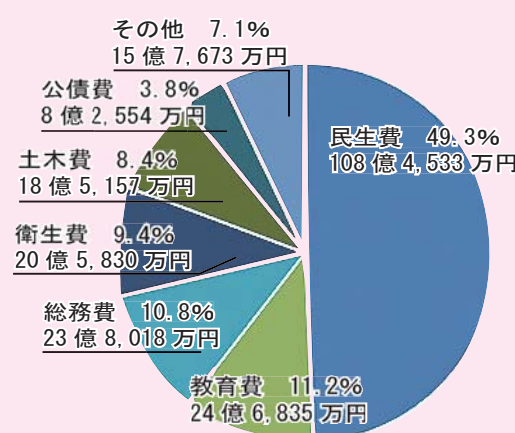
◆一般会計 歳入内訳◆【グラフ 1】

歳入の根幹となる市税収入は、前年度と比較し 3・4％減の 1 億 0 億 9 億 5 億 7 千万円を見込みました。

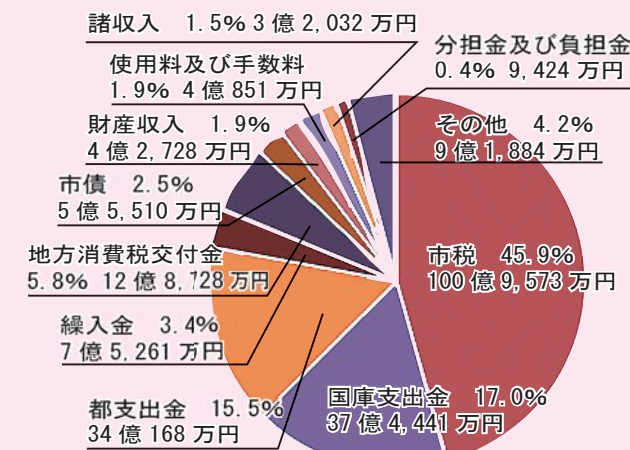
市民税個人分は、社会保険料控除の伸びやふるさと納税の増加などに伴う税収減を見込む一方で、昨年に引き続き所得の改善が見込まれることから、前年度と比較して 0・8％増の 35 億 6 億 7 億 4 千万円としました。

市民税法人分は、米中貿易摩擦問題などの影響による世界経済の先行きが不透明

【グラフ 2】一般会計歳出の内訳



【グラフ 1】一般会計歳入の内訳



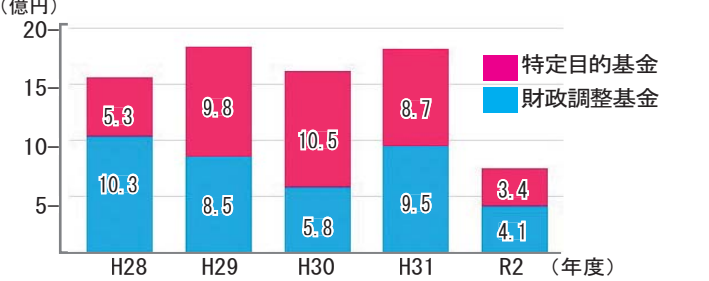
【表 6】行政のスリム化に向けた全事務事業の点検・見直しの取組み（効果額：約 4 億 5,120 万円）

事務事業名		見直し内容
平成30年度行政改革推進本部会議で審議	住民票等自動交付機の運用	令和元年9月末で運用廃止
	市役所連絡所の運営	令和2年9月末で施設の廃止
	火葬費等の助成	令和元年9月末で制度廃止
	コミュニティセンターの管理運営	休館日の見直し（月1回休館→毎週月曜日休館）
	平日夜間急患センターの管理運営・維持管理	開所時間の短縮 閉館時間午後10時30分→午後10時
	はむら健康の日・健康フェアの実施、羽村市三師会保健衛生事業補助金、結核検診の実施	はむら健康の日と健康フェアの統合
	難病患者福祉手当の支給	所得制限、施設入所制限、併給制限、生活保護受給者への支給制限を導入
	障害者（児）交通災害共済加入費助成事業	令和2年度から制度の廃止
	高齢者交通災害共済掛金助成金	令和2年度から制度の廃止
	敬老金の支給・満100歳到達者褒賞	助成対象年齢等の見直し 77歳（1万円）、88歳（2万円）、99歳（3万円）→88歳（2万円）、100歳以上毎年（5万円）
令和元年度行政改革推進本部会議で審議	AZEMS プロジェクト	令和2年度からEV用急速充電設備を有料化
	小作台5丁目広場の管理	小作台地区公共施設整備用地売却
	高齢者自立支援日常生活用具給付事業	令和2年度から制度の廃止
	高齢者特殊眼鏡・コンタクトレンズ助成金	令和2年度から制度の廃止
	住宅改修理由書作成事務	令和2年度から介護保険事業会計で実施
	家具転倒防止器具給付費の支給（高齢者福祉・障害者福祉）、勤労者等生活資金融資利子補給金の支給	令和2年度から制度の廃止
	動物愛護等セミナーの開催	令和2年度以降隔年実施
	環境フェスティバル	事業内容の見直し
	企業活動支援員による企業・事業所への支援	経費の見直し
	修学旅行補助金【小学校】	1人当たり助成金額の見直し 8千円→7千円
このほか、需用費（消耗品、印刷製本費、光熱水費等）、役務費（郵便料等）、委託料などの見直し、補助・助成金、報償費の見直しなど	移動教室補助金【小学校】	1人当たり助成金額の見直し 1万円→8千円
	修学旅行補助金【中学校】	1人当たり助成金額の見直し 2万円→1万8千円
	移動教室補助金【中学校】	1人当たり助成金額の見直し 1万円→8千円
	市立学校開放事業【小学校の体育館鍵の管理】	鍵管理者への委託契約を終了
	合	計
		約4億5,120万円

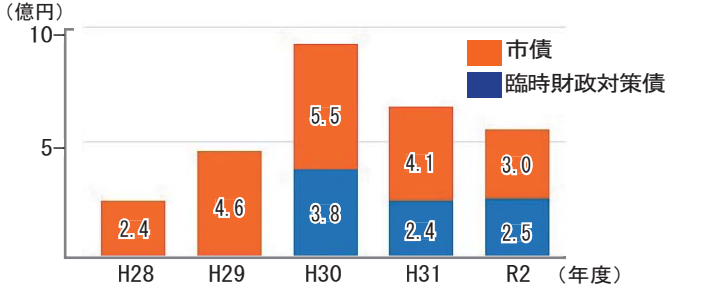
【表 5】行財政改革の取組み（効果額：約 2 億 1,283 万円）

改革項目	取組内容
税収の確保	収納率の向上
多様な資金調達の取組み	返礼品を用いたふるさと納税の実施
事務経費の見直し	需用費の一律削減（消耗品、光熱水費等）、維持管理委託料の削減、外郭団体運営助成金の一律削減（▲5%）、補助・助成金の一律削減（概ね▲20%）
その他	特別職給与の引下げ ○市長（▲15%→▲20%） ○副市長・教育長（▲10%→▲15%） 管理職手当（部長職）の引下げ（▲5%） 地域手当の引下げ（9%→8.5%） 組織定員の見直しなど
合 計	約2億1,283万円

【グラフ 5】基金繰入額（当初予算）の推移



【グラフ 6】市債借入額（当初予算）の推移



◆「基金」からの繰入額と「市債」借入額の推移
「基金」は、将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭という「貯金」にあたります。「財政調整基金」は経済状況の変化などによって財源が不足する場合などに活用される財源調整のための基金です。令和2年度は基金を7億5261万円繰り入れ、このうち、財政調整基金の繰入金金は4億1261万円としました。
市税収入をはじめとする経常的に歳入される一般財源が減少しているに伴い、基金からの繰入額が増えており、基金残高

が大幅に減少しています。このため、令和2年度についても引き続き「第六次行財政改革基本計画」に基づく行財政改革に取り組み、基金残高の確保を図っていきます。
「市債」は、家庭という「借金（ローン）」にあたります。公共施設の建設などに要する財源を補う借入金で、将来その施設などを利用する後世代の方にも建設経費を負担していただき、住民負担の世代間の公平を図るという目的も含まれています。令和2年度は5億5510万円の借入れを行うこととしました。

令和2年度の主な事業

羽村市の将来像「ひとが輝き みんなでつくる安心と活力のまち はむら」を実現するための施策を掲げた「第五次羽村市長期総合計画後期基本計画」。その4つの基本目標に沿って、令和2年度に重点的に取り組む主な事業を紹介します。

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち

【子ども・生涯学習の分野】

- ▼子育て支援と保育・幼児教育の充実
- 妊娠・出産・子育て包括支援拠点（子育て世代包括支援センター）の運営 728万円
- ▼学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成
- 中学校体育館への空調機器設置 475万円
- 富士見小学校トイレ改修工事の実施 5375万円
- 音楽教育の充実 1746万円
- ▼生涯学習の推進
- 第二次生涯学習基本計画の策定 111万円
- スポーツ施設の整備・充実 1億8001万円
- ▼安心を支える健康づくりと保健・医療の充実
- はむら健康の日・健康フェアなど健康教育の実施 100万円

基本目標2 安心して暮らせる支えあいのまち

【福祉・健康の分野】

- ▼助けあい支えあう福祉社会の実現
- 障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定 294万円
- ▼安心を支える健康づくりと保健・医療の充実
- はむら健康の日・健康フェアなど健康教育の実施 100万円
- ▼ともにつくる住みよい地域社会の実現
- 市内5会館の耐震診断の実施 919万円
- 災害時医療救護体制の構築 99万円
- 風水害対策の充実 1396万円
- 災害時の情報伝達手段の強化 1億8062万円
- ▼地域とともに歩む魅力ある産業の育成
- 金融支援の充実 1638万円
- 企業誘致の促進 584万円

基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち

【環境・都市整備の分野】

- ▼未来につながる環境都市の実現
- 低炭素化のためのマネジメントシステムの普及促進 587万円
- ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止 279万円
- ▼自然と調和した安全で快適な都市の形成
- 水道施設遠方監視制御システムの更新（公営企業会計） 7000万円
- 羽村駅西口土地区画整理事業の推進（特別会計） 18億5050万円
- 加美緑地公園（グリーントリム公園）の整備 8200万円
- 基本構想を推進するために
- 第六次羽村市長期総合計画の策定 725万円
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成・市民意識の高揚を図る取り組みの推進 1709万円